

# 和歌山の魚をもっと食卓に！ 水産業応援プロジェクト



## 現状・課題

- 海洋環境の変化や漁業就業者の減少などを背景に、本県の水産業は厳しい状況にあります。
- 水産業が将来にわたって持続していくためには、魅力ある産業として選ばれる環境づくりが重要です。
- そのためには、漁業や養殖業の効率化・高度化等による経営基盤の強化に取り組むとともに、和歌山の魚の価値を高めることが求められます。

## 取組

地域の活力と食の魅力を支える産業として、更なる発展を目指します

- **県産水産物の流通・消費の促進**
  - ・新たな販路開拓や商品開発等の支援、学校給食での県産水産物の利用拡大に取り組みます。
- **漁業就業者の確保・育成**
  - ・地域を支える中核的な漁業者の育成や、新たな漁業就業者の確保と育成に取り組みます。
- **不漁に強い漁業経営グループの創出**
  - ・主要漁業が不漁時でも漁業が継続できるよう、漁業の収入源の複合化に係る取組を支援します。
- **魚礁等の設置による基盤整備**
  - ・水産資源の維持・増大及び漁業操業の効率化を図るため、魚礁等の設置を支援します。
- **漁場施設の効果調査・維持管理**
  - ・造成した漁場の効果調査や、漁場施設の維持管理等を行います。
- **スマート水産業の推進**
  - ・ICT等を活用した最新技術の導入に取り組む漁業者を支援します。
- **養殖業の成長産業化を推進**
  - ・陸上養殖の適地等調査や、養殖事業者の新魚種・新養殖システムの導入を支援します。



(串本町の養殖漁場)

## 寄附金の使途

沿岸漁場の整備に要する経費、漁業者の確保や経営改革に要する経費、水産物の消費促進に要する経費 など